

べいあつぱ

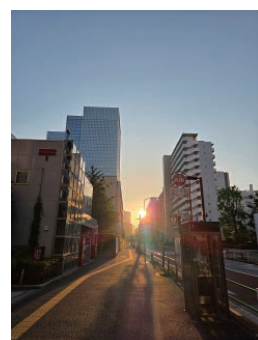
第73号
令和7(2025)年11月

人と人、町と町をつなぐ ーふれあい情報誌ー

昭和にタイムスリップ! お台場レトロミュージアム	2
【連載】べいあつぱ編集委員がおすすめする 地域のスポット 第30回...	4
【連載】芝浦港南地区の公園シリーズ 第13回	5
【連載】編集委員が選んだ おすすめグルメスポット VOL.4...	6
【連載】みなとパーク芝浦探訪 [第5回]港区スポーツセンター その2	7
総合支所だより	8
港区からのお知らせ・都税のお知らせ	9
港区ベイエリア イベントカレンダー	10
「防災とボランティア週間」に防災展を実施します!	11
読者ギャラリー・編集後記	12



◆次号(第74号)は令和8(2026)年3月上旬発行予定



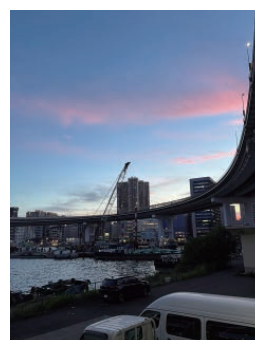
國分秀徳さんの作品
『朝日を浴びる電話ボックス』



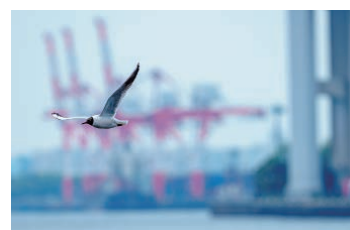
カロちゃんさんの作品
『ここで会いましょう来年も』



MASAさんの作品
『お台場花火』



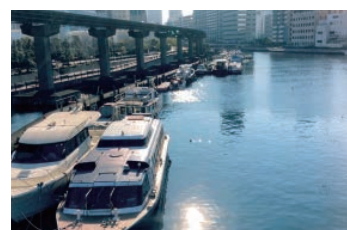
るいとさんの作品
『青の夕焼け』



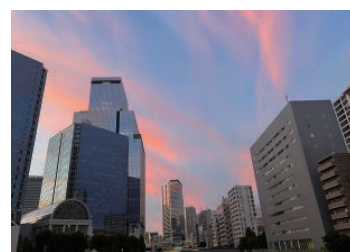
ゆきえもんさんの作品
『ユリカモメ、湾岸の風に舞う』



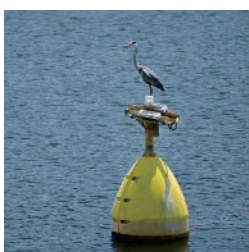
周月明さんの作品
『2025年7月26日 お台場海浜公園ビーチの夕焼け』



JUNさんの作品
『芝浦西運河“船と水鳥”』



あつまママさんの作品
『南浜橋からの夏の夕焼け』



ニコさんの作品
『お台場の海の監視官 青鷺』

芝浦港南地区の人、暮らしを伝える、
とっておきの作品をお送りください。
読者の皆さんで「べいあつぱ」を
盛り上げてください。
力作お待ちしております!

今回の締切は 12月9日(火) 必着です。

応募方法

次号は3月上旬発行予定です。芝浦港南地区の作品に
タイトルを添えて、住所・氏名・電話番号・作品の返
却希望の有無・ペンネーム(希望者)を明記の上、べ
いあつぱ編集部までお送りください。写真はデータで
もプリントでもOK。携帯写真でも大歓迎です。人物
が写っているときは、その人の許諾を取った後にご応
募ください。

作品の 送付先

〒105-8516 ※郵便番号だけで届きます
港区芝浦港南地区総合支所 べいあつぱ編集部
TEL : 03-6400-0031
FAX : 03-5445-4590
E-mail : sk-kuminnokoe@city.minato.tokyo.jp



※応募いただいた作品については港区の事業で無償で使用させていただくことがあります。

べいあつぱ 編集部では全員がボラン
ティアで参加する区民編集委員と芝浦
港南地区総合支所のスタッフが協働して、
企画・編集しています。より良い誌面を
作るため、地域の皆さまのご意見・ご要望
をお待ちしております(送り先は下記へ)。

港区芝浦港南地区総合支所 べいあつぱ編集部
〒105-8516 港区芝浦 1-16-1
TEL : 03-6400-0031 FAX : 03-5445-4590
E-mail : sk-kuminnokoe@city.minato.tokyo.jp

※この情報誌にお寄せいただいた住所・氏名・電話番号等
の個人情報誌は、作品の返送および事務連絡に利用します。
また、取扱いについては個人情報の保護に関する法律に
基づき、適正に管理します。

編集 後記

私の勤める会社が芝浦に移転してきて、早くも3年が経ちまし
た。2年前にご縁をいただき、「べいあつぱ」の編集委員として
活動するようになりました。移転当初、「べいあつぱ」を手にと
ったのが、この地域を深く知る最初のきっかけでした。そして今、編集委員
として、私自身が心惹かれる場所や出来事をご紹介できるようになり、大
きな喜びを感じています。この地域は、古くからこの地で暮らしている
方々と、新たにこのまちに根を下ろされた方々が、共に息づく魅力的なま
ちです。この多様な人々をつなぎ、地域への愛着を育む「架け橋」の一助と
なっているのが、この「べいあつぱ」だと感じています。そんな大切な冊子
の一端に携わらせていただいていることに、心から幸せを感じ、これから
もこの活動を続けていきたいと強く思います。引き続き、「べいあつぱ」が
皆さまにとって、このまちをより深く、そして楽しく知るきっかけとなりま
すよう、編集委員一同、精一杯努めてまいります。 林 淳一

べいあつぱ編集部

大橋 直/岡田 美紀子/金子 源/小金丸 典子
小林 紀雄/近藤 穂佳/佐藤 啓/志水 俊子
須古 邦子/塚本 みか/林 淳一/林 哲平
廣田 幸子/堀部 茉優/室谷 奈央/山口 ゆかり
山根 里奈/横山 仁/MESLER JONATHAN



本誌のバックナンバーは
港区ホームページで閲覧
することができます。



暮らしの疑問、まとめて
「みなとコール」で
お答えします。

午前8時～午後8時
FAX : 03-5777-8752

みなとコール
ゴヨウ(は)ナーニ ミナト(コールです)

03-5472-3710

本誌は環境に配慮して「のりとし」にしています。

発行番号 2025106-2435



昭和にタイムスリップ! お台場レトロミュージアム

なつかしくて
あたらしい

見て、聞いて、撮って、手に取って“昭和”を体験。大正、昭和生まれの方には懐かしく、平成、令和生まれの方には新しい感動の場所。“昭和”の世界に浸ることができます。



お台場レトロミュージアムは、デックス東京ビーチ シーサイドモール4階にあります。目印は射的で、その隣に入口があります。

入口を入ると、東宝映像美術の協力により再現されたリアルな昭和の街並みが目の前に広がり、映画のセットに入り込んだような感覚を体験できます。セット制作の技術も間近で見ることができます。

レコード店では実際にレコードをプレーヤーにかけることができます。パチンコ、スロットも年齢制限なく無料で体験できるほか、昔懐かしのアーケードゲームも無料で楽しめます。

写真撮影も自由になるので、映えスポットとしても魅力的です。



街並み



ディテールへのこだわり。例えば、右の写真にあるシミは本当のバイクのオイルのシミのようですが、シミに見えるように作られた舞台セットです。踏んでもオイルが付くことはありません



往年の名車「マツダ・キャロル」や古い自転車、昭和ではよく見かけた赤い郵便ポスト、ホーロー看板などが、細かいところまでこだわって再現されており、昭和の空間に入り込んだような感覚に落ち入ります。キャロルはドアをあけてシートに座ることができるのはもちろん、ボンネットなどを開けて見ることもできます。交番には手錠もあり、実際に触ることができます。電気屋さんには、大手電機メーカーであったサンヨーの古い看板や、当時の電化製品、テープレコーダーにデータを保管するかつてのパソコンなどもあります。表示されている値段も当時の価格を調べたものだそうです



小学校



小学校時代を思い出し、机や椅子が小さく感じられました。若い人は現実感がなく、マンガの世界のように思うかもしれません。教室にあるオルガンや木琴で実際に演奏ができたり、机の上に置いてあるノートに日付や来場した感想を書いたりすることもできます。そして、小学校のトイレは、学校の怪談として知られる「トイレの花子さん」のようなおどろおどろしさで再現されています

むき出しの電球の光に照らされた台所には小物類も年代に合わせたもので揃えてありました。花柄の炊飯器や伝言用の置き手紙もありました



台所



玩具

戦隊ロボのおもちゃをはじめ、なつかしい昭和のおもちゃもいっぱい置いてあります



詳しくはこちら



編集委員コスプレ3連発



ある時は、スナックのママさん、ある時は、ラーメン屋の店主、そしてまたある時は暴走族、はたしてその正体は？(衣装を借りるのは無料です)

Odaiba
Retro Museum



港区台場1-6-1 デックス東京ビーチ
シーサイドモール4階
☎ 080-5984-1265
営業時間：[平日] 11:00~20:00
[土・日・祝] 11:00~21:00

べいあつ編集委員が
おすすめする

地域の スポット

連載◆第30回

↓ベンチとして座れるオブジェ
「Meditative Garden」

“Meditative Garden” is an art object
that functions as a bench.



詳しくは
こちら



↑見る角度や位置によって光や色が変わって
見える作品「Ring of Light」

“Ring of Light” is an artwork where light
and colors shift depending on the viewing
angle and location.



↑ファスナーをモチーフとした作品「無限大をひらく」
“Opening Infinity” (Mugendai wo Hiraku) is an
artwork based on a zipper motif.

→約200本の植栽に彩ら
れた「GREEN WALK」
“Green Walk” is lush
with roughly 200 plants.



↑各所に設けられた共用席。共用席ごとに利用可能時
間帯が異なります
Shared seating is available in each section with
separate open hours by section.

令和7(2025)年9月にBLUE FRONT SHIBAURA TOWER Sがオープン
しました。訪れるすべての人に、心地良い場所を提供したい—そんな想いが込
められており、緑と水辺、そして広がる空を感じられる開放的な空間は、都心に
ありながら自然とのつながりを楽しめる貴重な場所となっています。

1階から3階までの飲食店では、レストラン、フードコート、そして気軽に楽しめる
テイクアウトと、シーンに合わせた多彩なスタイルで、モーニングからディナーま
で対応。有名店がずらりと並び、食通にも嬉しいラインナップです。

そして何といても魅力的なのが「共用席」の充実。隣接するレストランのメ
ニューでなくても、アルコール類を除き、持ち込み自由で利用できます。ランチは
もちろん、読書や勉強、仕事、ちょっとした休憩などにぴったりなスペースです。

また、BLUE FRONT SHIBAURAではアートも大きな魅力のひとつ。3階オ
フィスエントランスにある、5枚の油絵で構成される「Ring of Light」は、見る人
の角度、距離、時間帯(光の差し込み方)などによって、様々に変化する光と色を楽
しめます。すぐ手前にある木製オブジェ「Meditative Garden」は、作家が旧芝
離宮恩賜庭園の散策からインスピレーションを得て作られたもので、曲線の美し
さが目を引きます。2階CANAL DINNING HALLの吹き抜け部分に吊されている
「無限大をひらく」という作品は、ファスナーが無限の形をしており、そのかみ合
わせ部分が人型から四角いビルの形に変わっていくなど見ていて飽きません。

BLUE FRONT SHIBAURAには、ほかにも、ホテルフェアモント東京、1階
GREEN DINNING HALLにあるポップアップエリア、船着場など、紹介しきれな
い魅力がたくさんあります。ぜひ読者の皆さまも、友人たちのおしゃべりや、食

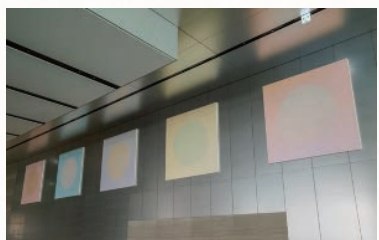
事、仕事、またはふらっとお散歩ついでに、
一度BLUE FRONT SHIBAURAに気軽
に足を運んでみてはいかがでしょうか。
きっと素晴らしい発見がありますよ!

Information

●港区芝浦1-1-1(浜松町駅南口から徒歩6分)
SHOP & RESTAURANT 平日: 7:00~23:00、
土: 9:00~23:00、日・祝: 9:00~22:00
<https://www.bluefrontshibaura.com/>



まちのコミュニティハブ 「BLUE FRONT SHIBAURA(ブルーフロント芝浦)」誕生



↑各所に設けられた共用席。共用席ごとに利用可能時
間帯が異なります
Shared seating is available in each section with
separate open hours by section.

→約200本の植栽に彩ら
れた「GREEN WALK」
“Green Walk” is lush
with roughly 200 plants.



↑ファスナーをモチーフとした作品「無限大をひらく」
“Opening Infinity” (Mugendai wo Hiraku) is an
artwork based on a zipper motif.

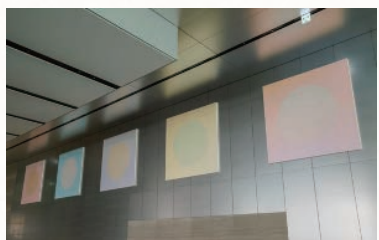


↑ファスナーをモチーフとした作品「無限大をひらく」
“Opening Infinity” (Mugendai wo Hiraku) is an
artwork based on a zipper motif.

→約200本の植栽に彩ら
れた「GREEN WALK」
“Green Walk” is lush
with roughly 200 plants.



↑各所に設けられた共用席。共用席ごとに利用可能時
間帯が異なります
Shared seating is available in each section with
separate open hours by section.



Information

●港区芝浦1-1-1(浜松町駅南口から徒歩6分)
SHOP & RESTAURANT 平日: 7:00~23:00、
土: 9:00~23:00、日・祝: 9:00~22:00
<https://www.bluefrontshibaura.com/>



遊具や遊び場、施設など、個性あふれる
連載

芝浦港南地区の公園シリーズ

【第13回】区立 新浜公園

「芝浦港南地区公園シリーズ」第13回目は、新しくなった新浜公園です。

芝浦一丁目のBLUE FRONT SHIBAURAの開発に伴い、
以前2か所に分かれていた公園が1か所にまとまり整備され、令和7(2025)年3月にリニューアルオープンしました。

JR、モノレール浜松町駅南口の東西自由通路を歩いていくと、
「BLUE FRONT SHIBAURA」に向かう通称グリーンウォークが
整備されていますが、その手前を日の出桟橋方面に進むと、生ま
れ変わった新浜公園の「モヤイ像」が迎えてくれます。

今回のリニューアルにあたり、港区が地域にお住まいの方々の
意見を聞きながら、この地域のまちづくりを進める野村不動産株
式会社とタッグを組み、「誰もが遊べ、憩える、緑・水・人が共生
する公園」としてリニューアルしました。緑と、古川や運河といっ

た水辺に囲まれたリラックスできる空間で子どもが遊んだり、家
族が見守りながらおしゃべりをしたり、遊歩道を散歩したり、運
河を見ながら休憩したり、働いている人がランチを食べたり休憩
したり、と、様々なシーンで楽しめます。

そして何よりも驚かされるのは充実した遊具です。年齢や性別
はもちろん、ユニバーサルデザインの遊具も設置され、転倒して
もケガをしにくいワッション性に優れた地面や広々とした人工芝
の芝生広場など、誰もが安心して楽しめるようになっています。



●CUBE (キューブ)
滑るだけでなく、通り抜ける、もぐるな
ど乳幼児も楽しめる遊具



●YURAGI (ユラギ)
みんなでゆれるのが楽しめる遊具。真ん
中の穴の中に大人が入り見守れるので小
さな子どもや身体の不自由な子どもでも
安心



●遊歩道
古川を見ながら散策



●人工芝の芝生広場



●テラス
運河を見ながら休憩



●モヤイ像
昭和59(1984)年4月に新
島本島から寄贈された石
像。モヤイは皆で一つのこ
とをなすという協同・協力・共
済をあらわした言葉で、港区
と島との交流のきずなとし
て島民が新島で産出された
石で彫ったもの



●光と音の円盤
(キネティックスピナー)
ぐるぐると回すと電気が生まれ、光
って音楽が流れる遊具。上のボタン
を押すと光の色や音楽を変えるこ
とができる優れもの



●光と音のブランコ
(キネティックスイング)
ブランコに乗ってイスを前後に動か
すと音楽が生まれ、光って音楽が流
れる遊具



近くにお住まいの方、また「BLUE FRONT SHIBAURA」にお越し
の際は、ぜひお立ち寄りいただき、居心地のいい公園を体感してみて
ください。

編集委員が選んだ

おすすめグルメスポット

【VOL.4】

港区の商店街に加入している飲食店の中から、編集委員が選んだお店を紹介します。

「いつでも気軽に立ち寄れるカフェがあったらいいな」
そんなあなたにおすすめしたいのが、田町駅から徒歩8分の場所にある「biotable.」です！
今回は、店長の中窪志帆さんにbiotable.の魅力をたっぷり伺ってきました！

心に寄り添うカフェ&レストラン biotable. (ビオターブル)

●誰もが心地よく過ごせる“テーブル”を

「すべての心に寄り添うテーブル」をコンセプトに掲げるbiotable.は、年齢や国籍、食のスタイルを問わず、誰もが安心して過ごせる空間づくりを大切にしています。その想いは、豊富なメニューにも表れています。

- ・軽めに済ませたい方にはサラダ
- ・しっかり食べたい方にはお肉料理やヴィーガンハンバーガー
- ・ヴィーガン、ベジタリアン、ハラル対応の料理も充実
- ・お子さま向けメニューもあり、家族連れにもぴったり



中窪志帆店長



運河に面した明るい店内

●毎日通いたくなるランチ

11時から15時までのランチタイムには、多彩なメニューが登場。飽きることのない工夫が随所に施されており、常連さんにも好評です。「ガッツリ食べたいけれど胃がもたれる…」という方にも嬉しいポイントがあります。

biotable.では、添加物を極力控え、ドレッシングは手作りです。さらに、吸油率を最大80%カットする独自の揚げ物調理法を採用しています。農家直送の新鮮な野菜も使用しており、健康志向の方にも安心です。

●自然を感じる店内で、ほっとひと息

店内は白を基調とした明るい空間です。テラス席には緑があふれ、まるで自然の中にいるような心地良さがあります。アットホームな雰囲気も魅力で、「また来たい」と思わせてくれる温もりがあります。

●地域とのつながり

定休日には、店内をレンタルスペースとして開放しています。パーティーや結婚式の2次会、YouTube撮影など、様々な用途で利用されています。

さらに今後は、仕入れた野菜の販売マルシェや、子ども向けのワークショップなどを通じて、地域とのつながりを深めていきたいとのことでした。

温もりあふれるbiotable.を、あなたの“行きつけ”に加えてみませんか？



充実したランチメニュー。ヴィーガン向けのメニューも用意されている



黄色いロゴが目印のエントランス



バーカウンター。パーティなどの際は、キッチンも利用可能



テラス席はペット連れでもOK



港区芝浦3-19-17
アンビエンテ芝浦2階
☎03-6809-5499
営業時間：11:00～15:00
／17:00～22:00
定休日：日・月曜日



芝浦港南地区をサポートする

みなとパーク芝浦 探訪



芝浦港南地区総合支所がある、みなとパーク芝浦をレポートします！

【第5回】 港区スポーツセンター その2

みなとパーク芝浦 【フロアガイド】

8F	港区 スポーツ センター	競技場（バドミントン、卓球）
7F		屋外ランニングコース
6F		屋内ランニングコース
5F		アリーナ、サブアリーナ
4F		武道場
3F		ジム、スタジオ、プールほか
2F		消費者センター 介護予防総合センター ラクチャ 男女平等参画センター リープラ
1F		芝浦港南地区総合支所 しばうら保育園分園 港区在宅療養相談センター リーブラホール・和室
B1		駐車場



天井が高く、開放的なプールエリア。歩行専用コースもあり、本格的に泳ぐ人から、健康づくりのためウォーキングをする人まで、気軽に利用できます



TEL：03-3452-4151
開館時間：8:30～22:30
最終入場：21:30
最終利用時間：22:00
休館日：第1月曜日（祝日の場合、翌平日）、年末年始

まだまだ知らないことばかり。おいに知って、もっと楽しく！

今回の「みなとパーク芝浦探訪」は港区スポーツセンターの2回目です。さらに詳しいお話を支配人の沖田さんに伺いました。

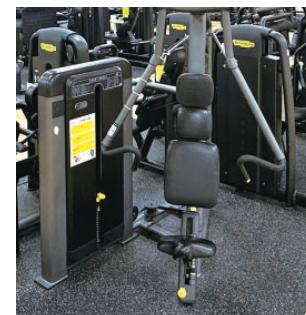
この施設の魅力は何だと思いますか？

3階にあるジムエリアは、ベンチプレスやスミスマシンをはじめ、最新のトレーニングマシンを数多く備えており、多くの方にご利用いただいています。

スタジオプログラムも充実しています。ジムエリアに併設されたオープnstudioは開放的で、エアロビクス、ヨガ、ピラティスなどのクラスが週に80本以上ありますので、ご自身の体力に合ったレッスンを見つけることができると思います。行列ができるほど人気のクラスもあります。

プールも人気のある施設です。25mが8コースの大プールと、小さなお子さまでも安心して使える可動床の小プール、そして2つのジャグジーがあります。オムツの取れた3歳児から利用できます。

また、朝の8時30分から夜22時まで利用できる（退館は22時半まで）のも魅力のひとつだと思います。



館内は段差がなく、車いすの方も利用しやすいです。車いすの方が利用できるトレーニングマシンも設置されています



オープnstudioの様子。スタジオは100名以上が参加可能。マットやバランスボールなど道具を使うものは別途定員が設けられます



だれでもスポーツ開放事業の様子。楽しそうな雰囲気が伝わってきます



一般向けの体験会などはあるのですか？

4階にある武道場を中心に、柔道、剣道、合気道、弓道、アーチェリーなど、指導員のいる「定期練習会」を行っています。見学後、指導員の説明を受けてから、練習に参加できます。

その他に「指導員付き個人公開」を行っています。バスケットボールやバレーボール、卓球、バドミントンなどの球技や、柔道、剣道、なぎなたといった武道など、初心者から経験者まで、どなたでも体験できます。（公開日などの詳細は上記QRコードを参照してください）。

障害者の方々も楽しめる施設ですか？

館内はすべてバリアフリーです。段差がないので、車いすの方もご利用いただけます。ジムエリアを車いすで利用する方もいらっしゃいます。

また、「だれでもスポーツ開放事業」を毎月第2・4水曜日に開催しています。これは、障害のある人もない人も誰でもスポーツを楽しめるように、障害者スポーツの体験などを行うもので、どなたでも参加できます（障害者優先）。



「誰でもスポーツ開放事業」では、サブアリーナでブラインドサッカーの体験ができます。ブラインドサッカーには、ボランティアや外国の方も参加していますよ。

多い時で1日1,000人以上が来館するという港区スポーツセンター。内容が豊富すぎてとても伝えきれませんが、港区の健康への取組の手厚さと同時に、一般の方々だけでなく障害者、シニア、子どもたちがそれぞれの好みや状況に応じて楽しんでいる様子がよく分かりました。「スポーツはちょっと…」という方も、気軽に足を運んでいただいて、自分に合った健康づくりにトライしてみてください。



支配人の沖田さん

お台場冬の風物詩! お台場海苔づくりが1月からスタート

お台場学園港陽小学校では、5年生の総合的な学習の一環で「海苔づくり」の環境学習を行っています。この取組は、地域や関係団体等で構成する「Team お台場海苔づくり」の協力により実施しています。令和8(2026)年2月の最終摘み取りまで観察を行いながら、海苔を育てていきます。今年度は以下の日程で予定しています。ぜひ、見学にお越しください。



- 日程
ひび(支柱)立て、海苔網張り 令和8(2026)年1月17日(土)
最終摘み取り、海苔すき、食育体験 令和8(2026)年2月21日(土)
- 開催場所 港区立小中一貫教育校お台場学園(港区台場1-1-5)
都立お台場海浜公園(港区台場1-4)

▶問合せ 芝浦港南地区総合支所 協働推進課 台場担当
TEL : 03-5500-2365



令和6(2024)年度の様子

「みなとパーク芝浦フェスティバル」を開催します!

みなとパーク芝浦内の各施設が協力して、みなとパーク芝浦を利用している様々な世代の方々が交流し、地域を盛り上げることのできるイベントを開催します。詳細は、広報みなと2/1号に掲載します。



令和6(2024)年度の様子

- 日程 令和8(2026)年3月14日(土)
- 開催場所 みなとパーク芝浦(港区芝浦1-16-1)

▶問合せ 芝浦港南地区総合支所 管理課 管理係 TEL : 03-6400-0036

港区からのお知らせ

区民参画型事業

ハガキと折り鶴で結ぶ「へいわ」に参加してみませんか

若者世代で構成する港区平和都市宣言40周年事業実行委員会が企画した区民参画型事業のハガキと折り鶴で結ぶ「へいわ」に参加してみませんか。この事業は、2つの取組で構成されています。

①ハガキアートで描く「へいわ」

あなたが思う平和や平和を感じる瞬間をテーマに、ハガキサイズの用紙にイラストやメッセージを描きます。集めたハガキアートは、平和関連事業での展示や、平和都市宣言40周年事業で制作する予定のモザイクアートの素材にします。

②「へいわ」の願いを込めた折り鶴の再生・循環プロジェクト

世界中から広島平和記念公園に届く折り鶴を再生紙に加工した再生おりがみで、平和の祈りを込めて再び折り鶴を作成します。この折り鶴を広島や長崎に捧げ、平和への想い・祈りを循環させることを目指します。

これらの取組は、区の平和事業や保育園、児童館、子ども中高生プラザで取り組む他、下記期間中に区内の施設で参加できます。この周年の機会に、平和について考えてみませんか。

- 実施期間 令和7(2025)年12月12日(金)まで
- 実施施設 区内いきいきプラザ、区民センター、男女平等参画センター
- ▶問合せ 港区総務部 総務課 人権・男女平等参画係 TEL : 03-3578-2014



ハガキと折り鶴で結ぶ「へいわ」ホームページ

都税のお知らせ

小規模非住宅用地の固定資産税・都市計画税を減免します(23区内)

一画地における非住宅用地の面積が400㎡以下であるもののうち200㎡までの部分について、固定資産税・都市計画税の税額の2割を減免します(個人または資本金・出資金の額が1億円以下の法人等が所有するものに限る。)。減免を受けるためには、令和7(2025)年12月26日(金)までに申請が必要です。

※こちらの申請は、インターネットでもお手続きができます。
※未申請の方で、小規模非住宅用地を所有していると思われる方には、9月までに減免手続きのご案内を送付しております。

▶問合せ

土地が所在する区にある都税事務所
港区にある物件について
港都税事務所 TEL : 03-5549-3800 (代表)



にせ都税メール・電話にご注意ください!

都税事務所の職員を装って、個人情報などを不正に取得したり、金銭をだまし取ろうとする事例が発生しています。不審に感じた場合は即答せずに、下記問合せ先までご連絡ください。また、万が一被害にあわれた場合は、すぐに警察にご連絡ください。

▶問合せ

総務部総務課相談広報班 TEL : 03-5388-2925

都税における納税証明は、すべての都税事務所・都税支所・支庁で申請できます

納税証明はすべての都税事務所・都税支所・支庁で申請できます。ただし、申告・納付後1~2週間以内に納税証明を申請する場合は、①領収証書の原本(領収印のあるもの) ②申告書の控え※(受付印のあるもの)の両方をお近くの都税事務所等の窓口までお持ちください。※②は申告税目のみ

▶問合せ

港都税事務所徴収管理班 TEL : 03-5549-3809

災害などにより甚大な被害を受けた方に対して都税を減免する制度があります

災害などにより甚大な被害を受けた方に対して、一度課税された税金のうち、納期限前のものを被災の程度などによって減免(軽減または免除)する制度があります(納税を猶予する制度もあります)。対象は、固定資産税・都市計画税(23区内)、不動産取得税、個人事業税などです。原則として、納期限(不動産取得税を除く)までに、納税者ご本人からの申請が必要です。被災の事実を証明する書類を添えて、都税事務所へ申請してください。

▶問合せ

港区にある物件について
港都税事務所 TEL : 03-5549-3800(代表)

※日時や内容が変更になることがありますので、必ず各施設の最新情報を確認してください。

乳幼児から楽しめる!

芝浦幼稚園

TEL: 03-3452-0574

ホームページ



●園庭・たんけん広場開放
日時: 平日 月曜日から金曜日 9:30～15:30
場所: 芝浦幼稚園 園庭・たんけん広場



●地域の乳幼児親子対象 りんごちゃんくらぶ
日時: 水曜日 9:30～11:00
場所: 芝浦幼稚園 保育室、ホール、園庭など

詳しくは園までお問い合わせください。

乳幼児から楽しめる!

にじのはし幼稚園

TEL: 03-5500-2577

ホームページ



●未就園児の会「にじっこキッズ」で遊ぼう!
日時: 毎週火曜日 10:30～11:50
※12/9(火)から1/6(火)の火曜日と、3/10(火)以降の火曜日の実施はありません。
場所: にじのはし幼稚園



にじっこキッズの他に、年末年始以外は、毎日絵本貸出を行っています。詳しくは、にじのはし幼稚園ホームページをご覧ください。

乳幼児から楽しめる!

港南幼稚園

TEL: 03-3471-7347

ホームページ



●未就園児の会 かもめっこデー
日時: 毎週水曜日 10:30～12:00
場所: 港南幼稚園 2階多目的室・園庭



園庭開放も行っています。日程など、ホームページでご確認ください。

年配の方にオススメ!

芝浦港南地区高齢者相談センター

TEL: 03-3450-5905

ホームページ



●かいごカフェ
日時: 11/14(金)、1/9(金)、3/13(金) 14:00～15:15
場所: さんぽーと港南(港南区民協働スペース)

●かいごカフェ&港南deオレンジカフェ
日時: 12/12(金) 14:00～15:15
場所: さんぽーと港南(港南区民協働スペース)



●港南deオレンジカフェ
日時: 2/13(金) 14:00～15:15
場所: さんぽーと港南(港南区民協働スペース)

●台場地域出張相談会&台場deオレンジカフェ
日時: 11/25(火)、1/27(火)、3/24(火) 10:30～11:30
場所: 台場ふれあい団らん室

どなたでも!

台場区民センター

TEL: 03-5500-2355

ホームページ



●0才からのファミリーコンサート in お台場
日時: 2/14(土) 13:30受付開始 開演14:00(終演予定15:00)
場所: 台場区民センター 区民ホール



0才からご参加いただけるファミリー向けのコンサートです。皆さまお誘いあわせの上、ご参加ください。(要事前予約)

●おはなし会
日時: 毎月原則第1火曜日 14:40～15:00
場所: 台場区民センター和室



絵本や紙芝居、手遊びうたを楽しみましょう。

どなたでも!

大人向け
SKDs未来の担い手育成プロジェクト
特別講座開催のお知らせ(追加募集)

SKDsとは、芝浦の「S」、海岸2・3丁目、港南の「K」、台場の「D」、sustainableの「s」を意味しています

令和7(2025)年11月27日(木)午後7時～午後8時30分(予定)

「バンダイナムコホールディングスとの地方創生に関する講座」

港区内の企業とコラボして実施する事業です。
芝浦工業大学の学生も参加し、
芝浦港南地区を盛り上げる企画を考えます。
お気軽にご参加ください。
ご参加、お待ちしております。

- 対象者: どなたでも ●参加費: 無料 ●定員: 30名(先着)
- 開催場所: 男女平等参画センターリーブラ(リーブラホール)
- 問合せ・申込方法: 芝浦港南地区総合支所 協働推進課 地区政策担当
03-6400-0013までお電話ください。
受付時間 8:30～17:00(土日、祝日を除く)

※申込の際は、参加者の氏名、住所、電話番号、年齢、メールアドレスをお知らせください。

参加
無料

E V E N T

「防災とボランティア週間」に
防災展を実施します!

防災とボランティア週間とは

「防災とボランティア週間」は、平成7(1995)年1月17日に発生した阪神・淡路大震災を契機に、災害時におけるボランティア活動や自主的な防災活動の認識を深めるとともに、災害への備えなどの充実強化を図ることを目的として創設されました。

防災展内容

災害による被害の軽減には、防災学習など、日ごろの継続的な取組による、防災意識の向上が必要になります。防災アンケートも実施し、参加した方には景品をプレゼントします。

ぜひ、防災展に足を運んでいただき、あらためて「防災」について考えてみてください。



防災ラジオと家具転倒防止器具助成のご紹介



みなとパーク芝浦1階アトリウム(区民課側の入口前)で開催しています



備蓄食料の展示も行っています

- 日時 令和8(2026)年 1月15日(木)～1月21日(水)
10:00～17:00(土日祝を除く)
- 場所 みなとパーク芝浦 1階アトリウム(港区芝浦1-16-1)

▶問合せ 芝浦港南地区総合支所 協働推進課 協働推進係 TEL: 03-6400-0031